経営学部

外国語の選択について

経営学部の外国語教育

（1）経営学部では、必修外国語として次の６カ国語を設置しています。

語学	概　要
英語	詳細は３・４ページ参照
ドイツ語	詳細は５ページ参照
フランス語	詳細は６ページ参照
中国語	詳細は７・８ページ参照
ロシア語	詳細は９・１０ページ参照
韓国語	詳細は１１・１２ページ参照

（2）この中から１年次履修科目として２カ国語を選択し、外国語科目として合計１６単位を修得しなければなりません。

（3）「英語」については、習熟度別クラスによる少人数授業を実施しており、経営学部外国語教育の大きな特長となっています。なお、既習外国語が英語以外の外国語で、英語の履修を希望しない方は、必ず手続き前に入学手続係にご連絡ください。

（4）経営学部のクラス編成は、みなさんが選択する外国語によって行いますので、ＵＣＡＲＯの入力にあたっては、この説明をよく読んで、間違いのないようにしてください。なお、**入学手続後の変更は一切認めません。**

外国語選択についての注意

（1）初習外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語）の希望を選択してください。３ページ以降の各外国語の説明をよく読んで選択してください。

（2）クラス編成の都合上、必ず第３希望まで選択してください。選択がない場合は、「どの外国語でもよい」と意思表示したものとみなします。

（3）選択した外国語によってクラス編成を行います。希望する外国語を第１希望から第３希望まで決定しましたら、ＵＣＡＲＯの「本人情報」から入力してください。なお、ＵＣＡＲＯは手続きを開始してから３０分以上操作しない場合、自動的にタイムアウトになりますので、注意してください。

（4）クラス編成の都合上、第２、第３希望の外国語になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

（5）初習外国語の選択にあたり、以下の点に注意してください。

　このクラスは、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語を初めて学習する学生のために授業を行いますので、これらの言語を母語とする方は、 別の言語を選択してください。

　また、これまでに、これらの言語を複数年にわたり学習し、引き続き当該語学を学習したい方は１年次で履修するクラスを検討しますので、必ず手続き前に入学手続係にご連絡ください。

英　　語

グローバル化が進む現在、英語は事実上の世界共通語となりました。ネット上の情報発信・交換も大半が英語で行われる時代です。これからの社会を担っていく人たちは多かれ少なかれ英語を使う必要に迫られています。英語でコミュニケーションを行うには、英語を理解するだけでなく、ある程度自由に自分の考えを話し、メールなどを書く能力も必要です。同時に国際人としての幅広い教養を身につける必要もあります。このため経営学部では、英語を読む・書く・聞く・話すという4技能の修得を目指したカリキュラムと同時に、経営、社会、時事、文学、文化、自然科学などの分野の英語も学べるカリキュラムを用意しています。

具体的には、習熟度別に設計された、必修科目の英語１でコミュニケーションのための英語を、英語２で教養の英語を学びます。習熟度の高い人は、グローバル経営人材育成トラックGREAT（Global Resources English Applied Track）（P.４参照）を利用して留学や英語による専門科目学習に有用な英語スキルを修得できます。３・４年次ではビジネス英語あるいはビジネス・プレゼンテーションを履修して、より専門的な英語能力を身に付けることができます。このほか英語コミュニケーションやSpeech & Debateなど、発信力や教養を高める様々な特色ある選択科目があり、興味に合わせて英語を学ぶことができます。一貫したカリキュラムの下で世界に発信できる英語能力を身につけてください。

なお、経営学部では英語プレゼンテーション大会、英語ライティングコンテスト、IBP・ISIBMなどの短期留学プログラム、学部間協定留学制度やデュアルディグリー・プログラム等、幅広い国際プログラムを用意しています。ぜひ積極的に活用してください。

■　GREAT (Global Resources English Applied Track)

将来、海外留学や国際ビジネスでの活躍を目指す学生のため、「グローバル経営人材育成トラックGREAT」を設置しました。GREATは、英語スキルと専門知識を融合した英語ベースの特別カリキュラムで、１・２年次でノートテイキング、ディスカッション、プレゼンテーション、アカデミックライティングなど英語による講義や演習に必要な英語スキルと、異文化理解やビジネスの専門知識の基礎を同時に習得し、３・４年次では英語による高度な専門知識の獲得と実際のビジネスで使われる語彙表現、ビジネス専門用語、ビジネスライティング、ビジネス・プレゼンテーションなどを学びます。経営学部独自の海外短期プログラムIBP、 ISIBMや学部間交換留学制度、また５年間でビクトリア大学（カナダ）と明治大学の２つの学位取得が可能なデュアルディグリー・プログラムへの派遣を行い、グローバルレベルでビジネスを創造・推進できる人材養成を目指します。

※GREATは、入学時に実施するTOEIC®のスコア等を参考に選出された１００名が対象になりますが、１年次春学期でGREATの対象にならなかった学生でも所定の要件を満たせば、１年次秋学期、２年次春学期からGREATに任意で参加することができます。

ド イ ツ 語

ドイツの作家ゲーテは，「（複数の）外国語を知らないということは，自国語について何も知らないということだ」との箴言を残しています。私自身の経験でも，大学で第二外国語（ドイツ語）を学んで初めて，英語はもちろん日本語に対する理解がぐっと深まりました。

また『モモ』や『はてしない物語』で有名なミヒャエル・エンデは，一つの言語を学ぶことは，新しい未知の世界への発見の旅のようであると言っています。自国語について見識を深めると同時に，新しい世界の扉を開ける旅に，みなさんと一緒に出かけられることを今から楽しみにしています。

たとえば経営学・会計学への意欲に燃えるあなた。ドイツ経営・会計学は，日本・アメリカと並ぶ三本柱のひとつです。英語のほかにドイツ語ができれば，そのメリットは計りしれません。また，ドイツ語と英語は，同じゲルマン語に属していて，兄弟のように似た言語ですので，英語を深いレベルでしっかり学びたい人にも大きなメリットがあります。

EUは，世界の経済や政治，社会に対して大きな影響を与えています。そのEUの中でドイツが最大国なので，未来の自動車やインターネットのあり方、環境問題といったグローバルな課題に強力なリーダーシップを発揮していて，世界のルール作りを先導しています。ドイツ語を学ぶ先に見えてくるのは，世界を舞台に活躍するあなたの姿でしょうか。

あるいは本場ドイツのサッカー文化にもう一歩踏み込んでみる…，原語で楽しんでみたい本や雑誌，映画や歌に触れてみる…，訪れてみたい古都やお城はありませんか？それともあなたの心に浮かんだのは，やがて出会うかもしれないドイツの友人やパートナーでしょうか。「ドイツゴはムズカシイ」という先入観を捨てて一歩踏み出せば，ドイツ語圏の社会や文化は，皆さんがどのサイドからアプローチしても，それに応えるだけの豊かな伝統とアクチュアリティ，未来への活力を備えています。

教室は新しい世界への「入口」にすぎませんが，私たちドイツ語教員は二年間のプログラムを通して，皆さんの新しい旅立ちの最初のお手伝いをしたいと思っています。ぜひ教室でお会いしましょう。

フ ラ ン ス 語

街中を見渡すと，ファッションやコスメのブランド名，カフェやレストランの店名や商品名，服飾雑貨に書かれた詩的フレーズ，店内BGMやテレビCMから聞こえてくるセリフや歌詞など，巷には様々な場所にフランス語が溢れています。授業では，日本とフランスのこうした身近な出会いの発見を糸口に，フランス語を理解し操る技法を身につけつつ，現地で使える実践的なフランス語の習得を目指します。

フランス語は英語と並び多くの国際機関の公用語となっていますが，特に国連では英語とフランス語が作業言語として認定されており，他の公用語とは別格に扱われています。同時に，アフリカ諸国など旧植民地の存在もあり，フランス語は英語と並んで話者人口の大変多い言語です。サッカーなどスポーツの世界でフランス語を話す非フランス人選手やコーチの姿を目にしたことのあるひとも多いのではないでしょうか。

必修の授業では，１年次は初歩の口語表現を学びつつ文法や発音についての基礎知識を修得します。２年次はレベル別の必修授業と合わせて各自の目的・関心に応じたテーマ別の授業を選択必修することで，さらにフランス語力を伸ばします。

どの授業でも「フランス語検定試験」の受験を推奨しており，受験希望者には学部からの補助が出ますので，各自レベルに合わせて目標を持って学習することができます。

希望者は必修授業と平行して設置されている「フランス語コミュニケーション」の授業で４年間にわたってフランス語能力全般を向上させることができ，その一部は必修単位として読み替えることもできます。さらに，ネイティブの教員が担当する夏期休暇中の集中講座もあります。その先には，明治大学の協定校留学制度を使ってフランスの大学に留学するチャンスも開かれています。

中　国　語

皆さんもご存知の通り、近年、日本と中国の両国は政治面では様々な曲折や起伏を経験しています。しかし、日本と中国は一衣帯水の隣国としてこれまで培ってきた友好関係を土台に、文化的な交流が頻繁に行われていますし、経済面でも強い繋がりがあります。現在中国は「世界の市場」として、多くの日本企業が進出し続けています。また、中国人にとって今や日本は最も魅力的な観光地ですし、生活の場として日本に中長期滞在する中国人や、日本に進出する中国企業も増えました。

このような状況のもとで、これから大学で学び、卒業して、企業で仕事をする、あるいは資格を取得して専門的職業に就く、あるいは自ら起業してビジネスを展開する、などいずれの場合も中国という国や個人としての中国人と接する機会はますます多くなると思われます。そのため、経営学部で学ぶ学生の皆さんが外国語科目の中国語を選択履修する意義はきわめて大きいと言えるでしょう。

ここ数年、経営学部では新入生の約半数の学生が中国語を選択履修しています。その理由として、中国語は日本人にとって親しみやすい言語だという点が挙げられるでしょう。中国語はなんといっても私たちも使っている漢字（花、草、火、社会etc...）で書き表すのが最大の特徴で、全く習ったことがなくともこれほど多くの単語の意味がわかってしまう言語など他には存在しません。文法に関しても、語形変化の少ない孤立語といわれるシンプルなタイプに属するので、人称代名詞や動詞などに煩雑な変化規則もありません。発音は当然日本語にはない音があり、少々難しいと感じるかもしれませんが、それはどの外国語でも同じですし、これまでの履修生も練習を経て上手になっています。

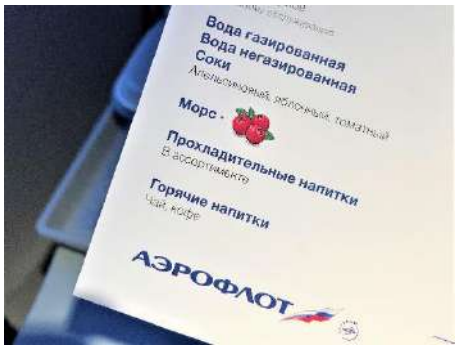
明治大学には多数の中国からの留学生がいることも、中国語の練習には有利な環境だと言えるでしょう。中国語を学べば彼らと中国語で交流することもできます。また協定校留学・認定校留学の制度を利用して、中国語圏の大学に留学して中国語の実力アップをはかることも可能です。

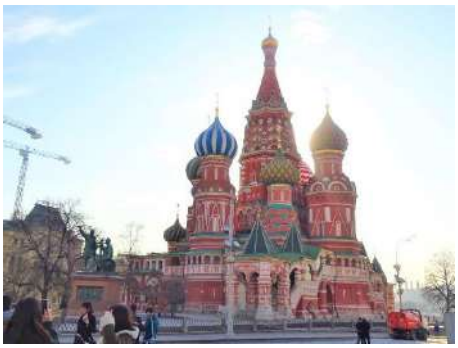
もちろん新たな外国語を学ぶのですから、それなりの努力は必要ですが、意欲があり、努力を惜しまない学生の皆さんのために、学識・経験豊富で実力ある日本人教員・中国

人教員が熱心にサポートします。１年次・２年次の２年間でしっかり実力がつく教育プログラムが用意されている他、自由選択の中国語コミュニケーション初級・中級・上級クラスも設置されていて、外国語運用能力の向上を目指す学生には幅広い選択肢が用意されています。結果、入学時にゼロから始めて実力を養成し、卒業後国内で中国語力を活用している、あるいは中国に駐在・滞在して中国語力を生かしている諸先輩も大勢います。

さあ、皆さん、私たちと一緒に中国語を学んでみませんか。

ロ　シ　ア　語





「第２外国語はロシア語にしようかな」と言ったら、みなさんの家族や友達は目を丸くして「なんで？」と聞くでしょうか。それは純粋な興味からの質問かもしれないし、あるいはロシア語の使われる主要国たるロシアとそこに暮らす人々に対する少々ネガティブなイメージからかもしれません。広大過ぎる国土（国土面積世界一）、凍てつくシベリアの大地（冬は零下40度）、どこか強面で不愛想な人々、政治や国際関係のニュースは不穏なものばかり…。日本のすぐ近くに位置しているのに多くの日本人にとって何となく親近感のわかない北の大国、ロシア。

「うーん、やっぱりロシア語はやめておくか…」いやいや、それはもったいない！ロシア語を学べば、そうした先入観では捉え切れないロシアという国の文化や社会の知られざる魅力に直に触れることができます。ロシアの広大さは、北はオーロラの見える北極圏のムルマンスクから南は黒海沿岸の温暖な保養地のソチ、西はサンクトペテルブルクやモスクワといったヨーロッパとの交流が盛んな都市から東はウラジオストクやサハリンなど日本をはじめアジアの歴史とも縁の深い極東地域まで、地域ごとに豊かな自然や複雑な歴史に彩られた特色をもっています。またロシア人はクールで近寄りがたいイメージがあるかもしれませんが、実際には陽気で冗談好き。それに世の中の不条理を皮肉をまじえた笑いに変えて乗り越えるたくましいメンタルの持ち主でもあります。

ロシア語を学ぶことで扉が開かれるのはロシア一国にとどまりません。今もロシア語が広く使われる旧ソ連の国々には、ベラルーシ、ウクライナ、モルドバといった東欧の国々や、カザフスタンやキルギス、ウズベキスタンといったシルクロードの要衝として栄えた中央

アジアの国々などがあり、皆さんの知的関心や行動範囲を大いに広げてくれるでしょう。

「でも、ロシア語はあの独特な文字から勉強しないといけないし難しそう」そう思う方もいるでしょうか。上の写真にもあるように、ロシア語のアルファベットはところどころ知っている文字もありますね。ＭＯＣＫＢＡ（マスクヴァー）はモスクワ，ＡＥＲＯＦＬＯＴ（アエラフロート）はロシアの航空会社アエロフロートです。なんとなく読めそうでしょ？授業では文字の発音と書き方からゆっくり丁寧に学び、文法も基礎の基礎から少しずつステップアップしていきますので心配いりません。

近年、日本とロシア語圏は経済的な側面で交流が活発化しており、両者の関係は今後発展が見込まれます。将来の日本社会を担う経営学部の皆さん、一緒にロシア語を学びましょう！

韓　国　語

日本は隣接する朝鮮半島と，２０００年も前の古き時代より交流してきました。そして近年に至っては，特に韓流ブームにより，テレビドラマや映画，K-POP，韓国料理，スポーツなど文化面の交流が盛んになり，それによって韓国語は非常に身近な言語となりました。また経済面においては，すでに日韓両国企業の双方への進出は至極当たり前のこととなり，ビジネスパートナーとして，共存共栄の道が未来に限りなく広がっているといえる段階でしょう。

韓国語は「朝鮮語」とも呼ばれ，朝鮮半島を中心に話されている言語です。授業では「韓国語」といったり「朝鮮語」といったりしますが，特に区別しているわけではありません。

光化門広場にある世宗大王像

皆さんが駅などの公共の場や街で，日常的に目にしている韓国語の文字「ハングル」は，１５世紀に誰もが簡単に使用できるようにと工夫をこらして作られた，世界の多様な文字の中でも非常に新しい文字です。「ハングル」は漢字のような表意文字ではなく，一つ一つの音声に対応して，その発音を表す表音文字です。基本母音字１０個と基本子音字１４個の組み合わせによって一音を表す一字ができ上がります。一見不思議な形で謎めいた文字に見えますが，非常に科学的，体系的にできていますので，決まったルールさえ覚えれば，すぐに読めるようになります。

景福宮

ソウルの夜景

韓国語は日本語と様々な点で似通っているため，日本語話者には最も学びやすい言語の一つといえます。特に語順や文法構造が日本語とほぼ同じで，「てにをは」に相当する助詞もあるので，日本語をそのまま順に韓国語の単語や助詞に置き換えていけばよいのです。また韓国は漢字文化圏に属していることから，単語は７割近くが漢字表記の可能な漢字語でできているので，日本語と音が似ているものがたくさんあります。

しかし，いくら学びやすいといっても，習得には地道な努力と根気が必要です。また，単に言語スキルを身に付けることにとどまらず，学習を通して，それを話す人々の社会や文化を知り，新しい発見を楽しみながら，皆さんの知的な世界をさらに深めてみましょう。

日韓両国の年間往来者数が一千万人を超える時代となり，学習した韓国語の知識がすぐに役立つことは，学んでみれば皆さんも本当に実感できると思います。日本と韓国の間には文化面・経済面での盛んな交流がありますが，一方，過去の不幸な歴史が現在も尾を引いていることも事実です。あなたの踏み出す韓国語学習の第一歩が，日韓の相互理解へとつながり，新たな未来を切り開いてくれることにもなるはずです。

まずは韓国の文化に触れながら，一緒に楽しく韓国語の勉強を始めてみませんか。

キムチ類

ビビンパ

明洞
写真：若松幸紀(2年)　提供

水原 별마당図書館
写真：若松幸紀(2年)　提供